

## Ⅱ 11の特別対策事業の 点検結果の総括

# 1 11 の特別対策事業の総括（まとめ）

## 全体の総括

施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリングの調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見などを踏まえて、11 の特別対策事業の多面的な評価を行った。

第3期5か年計画の2年目となる平成30年度における11事業全体の事業費の執行状況ならびに事業進捗については、一部の取組を除き、概ね計画通りであった。

森林関係事業では、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域やその周辺地域でのシカ管理や土壌流出防止対策、ブナ林再生のための調査研究など、様々な取組を進め、全体としては計画通りに進捗していた。この結果、下層植生が回復し、土壌保全が図られるなどの成果が出てきている。今後、森林の公益的機能を持続させるための対策やシカ対策の継続など、解決していくべき課題はあるものの、森林の保全・再生は、概ね順調に進められていると評価できる。

水関係事業では、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における生活排水処理施設の整備促進などを着実に進めてきた結果、河川の自然環境の改善や生活排水処理の進展など、一定の成果が見られている。河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しているが、水源環境への負荷軽減（県内ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進、相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域（ダム集水域を除く）の合併処理浄化槽の転換促進）に関しては、整備が困難な箇所への対応や各家庭の個別事情など難しい課題も多いため、市町と連携して、より一層の整備促進を図る必要がある。

また、第3期からの新たな取組である水源林の土壌保全対策の強化や、これまでの取組の拡充としてシカ管理捕獲の箱根山地山稜部での開始、水源環境への負荷軽減に向けた支援の拡充など、第1期及び第2期計画の取組や課題を踏まえた事業が始められており、それぞれ一定の成果が出てきている。

事業評価においては、計画目標の達成度と併せて内容面の評価が重要であるため、その結果としてどのような水源環境の変化が見えてきたのかなど、モニタリングの結果をもとに定量的あるいは定性的に総合的な評価を行うことが必要である。

そこで、県民会議では、第3期中における総合的な評価（中間評価）の実施及び次期（第4期）計画への意見書の作成に向け、県民意見の収集等を目的に、平成30年度に県民参加型のワークショップを開催するとともに、施策の成果を定量的かつ分かりやすく示すため10の指標を設定し、今後の評価に生かすこととした。

また、水源環境保全・再生事業のあり方として、気候変動による災害頻発への懸念や台風等による災害の発生状況を踏まえ、森林の生育基盤である土壌の保全を図っていくことや、水の十分な管理や水質保持の観点から水と土砂を一体のものとして施策を考えていくことも重要な課題であり、その観点からも県の関係部署において、より一層の情報共有と連携を図り、今後の事業進捗に努めていただきたい。

## 2 事業費実績及び進捗状況一覧

特別対策事業	第3期計画の内容 (5年間計(H29~R3)) (A)	H29年度決算 (B)	H30年度決算 (C)	進捗率 ((B+C)/A)
森林の保全・再生	13,221,000千円	2,776,743千円	2,786,166千円	42.1%
水源の森林づくり事業の推進 (一般会計分を含めた金額)	6,244,000千円 (12,875,000千円)	1,481,234千円 (2,764,727千円)	1,355,076千円 (2,609,666千円)	45.4% 41.7%
①水源林の確保	2,700ha	746ha	685ha	53.0%
②水源林の整備	13,400ha	2,862ha	3,331ha	46.2%
③かながわ森林塾の実施 (新規就労者の育成)	50人	10人	6人	32.0%
丹沢大山の保全・再生対策	1,252,000千円	249,301千円	226,399千円	38.0%
①中高標高域シカ管理捕獲	150箇所	37箇所	37箇所	49.3%
②ブナ林等の再生	-	-	-	-
③県民連携・協働事業	-	-	-	-
土壌保全対策の推進	1,310,000千円	178,038千円	292,730千円	35.9%
①水源林の基盤整備	70箇所	3箇所	22箇所	35.7%
②中高標高域の自然林	55ha	18.1ha	11.6ha	54.0%
③高標高域の人工林	60ha	11.46ha	12.65ha	40.2%
間伐材の搬出促進	1,550,000千円	296,768千円	306,860千円	38.9%
①搬出事業量	120,000m <sup>3</sup>	24,262m <sup>3</sup>	25,244m <sup>3</sup>	41.3%
②生産指導事業量	50箇所	11箇所	10箇所	42.0%
地域水源林整備の支援	2,865,000千円	571,400千円	605,100千円	41.1%
①私有林確保	840ha	150ha	189ha	40.4%
②私有林整備	1,360ha	201ha	252ha	33.3%
③市町村有林の整備	435ha	118ha	95ha	49.0%
④高齢級間伐	100ha	17ha	16ha	33.0%
河川の保全・再生	1,490,000千円	226,366千円	182,934千円	27.5%
河川・水路における自然浄化対策の推進	1,490,000千円	226,366千円	182,934千円	27.5%
①河川・水路の整備	10箇所	4箇所	2箇所 (新規2箇所) (継続2箇所)	60.0%
地下水の保全・再生	396,000千円	109,800千円	114,200千円	56.6%
地下水保全対策の推進	396,000千円	109,800千円	114,200千円	56.6%
①地下水保全計画の策定	-	-	-	-
②地下水かん養対策	-	-	-	-
③地下水汚染対策	-	-	-	-
④地下水モニタリング	-	-	-	-
水源環境への負荷軽減	3,483,000千円	643,563千円	615,792千円	36.2%
生活排水処理施設の整備促進	3,483,000千円	643,563千円	615,792千円	36.2%
①公共下水道整備	-	21ha	18ha	-
②一般家庭等の高度処理型浄化槽整備	-	128基	116基	-
③事業所等の高度処理型浄化槽整備	-	4基	3基	-
④一般家庭の浄化槽転換	-	60基	71基	-
県内水源保全地域の生活排水処理率	96.0%	94.6%	94.8%	20.0%
うちダム集水域の生活排水処理率	80.8%	67.5%	70.3%	28.6%
水源環境保全・再生を支える取組	1,460,000千円	183,198千円	287,328千円	32.2%
相模川水系上流域対策の推進	190,000千円	34,510千円	34,977千円	36.6%
①荒廃森林再生事業	728ha	164.24ha	147.12ha	42.8%
②広葉樹の森づくり事業	10ha	0ha	0.48	4.8%
③生活排水対策 (放流水の目標全リン濃度)	0.6mg/l	0.40mg/l	0.51mg/l	-
水環境モニタリングの実施	1,040,000千円	118,858千円	221,780千円	32.8%
①森林のモニタリング調査	-	-	-	-
②河川のモニタリング調査	-	-	-	-
③情報提供	-	-	-	-
④酒匂川水系上流域の現状把握	-	-	-	-
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	230,000千円	29,829千円	30,570千円	26.3%
①県民会議の運営等	-	-	-	-
②市民事業等の支援	-	-	-	-
新たな財源を活用する 事業費の計	20,050,000千円	3,939,671千円	3,986,420千円	39.5%
個人県民税超過課税相当額	-	4,072,756千円	4,174,965千円	-

※ 参考進捗率40%(3期計画5年間計に対する進捗。事業によって5年間の進捗ペースに偏りがある。事業ごとの詳細は「Ⅲ 各事業の概要と点検結果」の総括参照。) 予算は事業内容によって5年間の配分に偏りがある。 千円未満切り捨てのため合計は次ページの執行額と一致しないことがある。

予算執行状況の内訳について

(単位：千円)

	平成29年度 当初予算額	平成29年度 執行額	平成29年度 単年度 執行率	平成30年度 当初予算額	平成30年度 執行額	平成30年度 単年度 執行率	第3期5か年 単位当たり 執行額
<b>1 水源の森林づくり事業の推進</b>	1,673,468	1,481,234	88.5%	1,658,065	1,355,076	81.7%	
水源林の確保【特別会計分】		340,686			317,863		2,356千円/ha 18,607千円/ha 1,171千円/ha 11千円/ha
水源林の整備【特別会計分】(森林整備)		784,899			624,625		446千円/ha
(管理道、測量・調査等)		273,058			330,950		—
(水源林事業推進費)		26,770			27,668		—
かながわ森林塾の実施		55,820			53,970		5,582千円/人 (新規就労)
<b>2 丹沢大山の保全・再生対策</b>	271,570	249,301	91.7%	283,276	226,399	79.9%	
中高標高域におけるシカ管理の推進		164,153			179,761		4,436千円/箇所
ブナ林等の再生		37,023			29,210		—
県民連携・協働事業		48,124			17,428		—
<b>3 土壌保全対策の推進</b>	244,608	178,038	72.7%	259,296	292,729	112.8%	※
水源林の基盤の整備		37,174			95,914		5,323千円/箇所
中高標高域の自然林の土壌保全対策の実施		103,962			137,106		5,775千円/ha
高標高域の人工林の土壌保全対策の実施		36,901			59,709		3,717千円/ha
<b>4 間伐材の搬出促進</b>	298,026	296,768	99.5%	310,176	306,860	98.9%	
間伐材の搬出支援		273,312			281,790		11千円/m <sup>3</sup>
生産指導活動の推進		23,456			25,070		—
<b>5 地域水源林整備の支援</b>	610,800	571,400	93.5%	640,100	605,100	94.5%	
市町村が実施する私有林の確保・整備(市町村)		441,431			510,400		2,101千円/ha
市町村有林の整備(市町村)		124,969			89,700		1,009千円/ha
森林所有者が実施する間伐の促進(県)		5,000			5,000		303千円/ha
<b>6 河川・水路における自然浄化対策の推進</b>	243,800	226,366	92.8%	193,300	182,934	94.6%	
生態系に配慮した河川・水路の整備		226,366			182,934		51,163千円/箇所
<b>7 地下水保全対策の推進</b>	122,900	109,800	89.3%	118,300	114,200	96.5%	
地下水保全計画の策定		0			0		—
地下水かん養対策		90			2,380		45千円/市町
地下水汚染対策		33,100			41,874		33,100千円/市町
地下水モニタリング		76,610			69,946		7,661千円/市町
<b>8 生活排水処理施設の整備促進</b>	655,798	643,563	98.1%	681,328	615,792	90.3%	
公共下水道の整備促進		402,474			345,746		19,165千円/ha
一般家庭等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進		178,268			159,609		1,392千円/基
事業所等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進		24,623			64,945		6,155千円/基
一般家庭の合併処理浄化槽への転換促進		38,198			45,492		636千円/基
<b>9 相模川水系上流域対策の推進</b>	38,218	34,510	90.3%	38,402	34,977	91.1%	
森林整備(荒廃森林再生事業)		20,000			19,596		—
森林整備(広葉樹の森づくり推進事業)		0			403		—
生活排水対策		14,510			14,977		—
<b>10 水環境モニタリングの実施</b>	151,551	118,858	78.4%	249,418	221,779	88.9%	
森林のモニタリング調査		110,106			115,581		—
河川のモニタリング調査等		8,752			106,198		—
<b>11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み</b>	47,303	29,829	63.0%	45,280	30,570	67.5%	
「水源環境保全・再生かながわ県民会議」の運営等		22,775			24,781		—
市民事業等の支援		7,054			5,789		389千円/団体
<b>合 計</b>	<b>4,358,042</b>	<b>3,939,671</b>	<b>90.4%</b>	<b>4,476,941</b>	<b>3,986,416</b>	<b>89.0%</b>	

※ 平成30年度の「3 土壌保全対策の推進」執行額は、平成29年度からの繰り越しを含むため当初予算を超えている。  
千円未満切り捨てのため、前ページの決算額と合計が一致しない場合がある。

平成29年度歳入・歳出の状況

【歳入】			【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)			特別対策事業 事業費	
4,072,756千円			3,939,671千円	
基金運用益	26千円	➔	基金等	831,364千円
寄附金	987千円		※30年度以降の財源として活用	
預金利子等	300千円			
基金等	696,965千円			
合計	4,771,035千円		合計	4,771,035千円

平成30年度歳入・歳出の状況

【歳入】			【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)			特別対策事業 事業費	
4,174,965千円			3,986,420千円	
基金運用益	29千円	➔	基金等	1,022,510千円
寄附金	2,463千円		※R元年度以降の財源として活用	
預金利子等	109千円			
基金等	831,364千円			
合計	5,008,931千円		合計	5,008,931千円